

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動（1982 年 6 月～11 月）

Seismic Activity in and near Izu Peninsula (June-November, 1982)

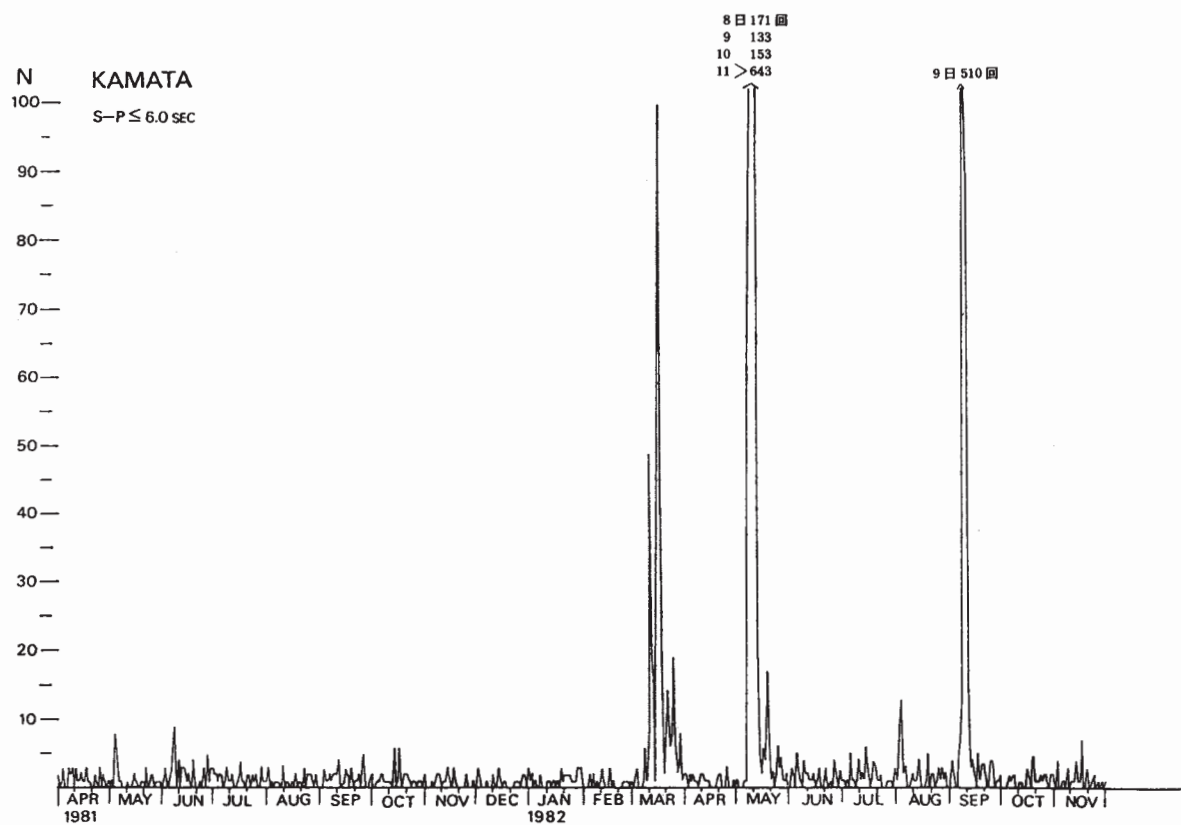
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

第1図は伊東市鎌田における S - P 6.0 秒以下の地震の日別回数である。今年の3月と5月に伊豆半島東方沖で微小地震が群発したが、9月7日頃からこれらの活動とほぼ同じ場所でまた地震が発生しはじめ、9日には有感地震2回を含む510回の地震が観測された。しかし、この地震活動は急速におさまリ、12日頃にはほぼ活動前の状態に戻った。第2図は鎌田における時間別地震回数である。今回の活動では、9日13時9分の地震が最も大きく、マグニチュードは3.9で網代、大島、三島で震度2であった。また同じ日の12時36分の地震（マグニチュード3.3）でも網代、大島で震度2であった。

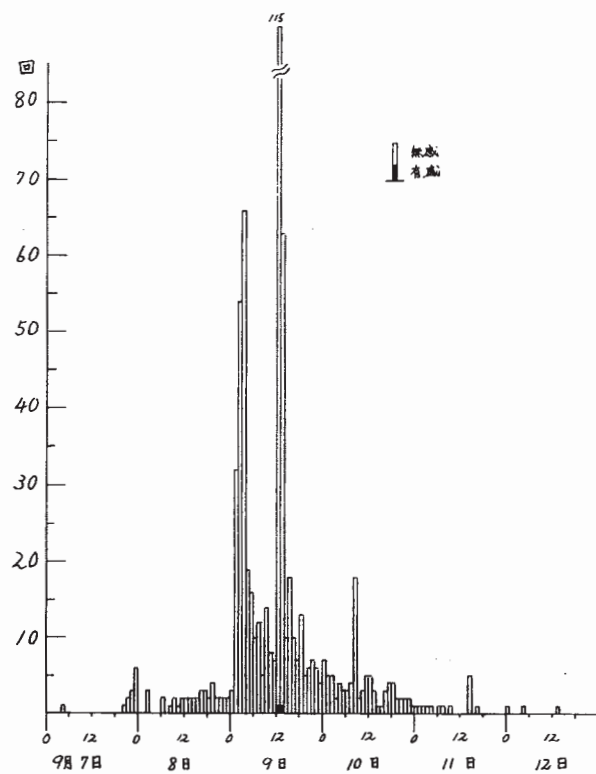
第3図は9月7日から30日までにこの付近に発生した地震の震央分布である。伊豆半島東方沖の地震活動につづき、19日から20日にかけて新島の東方沖で有感地震3回を含む多くの地震が発生した。19日15時47分のマグニチュード3.6の地震が最も大きく、新島で震度1であった。また同じ日の13時12分と19時32分の地震では、三宅島で震度2であった。

また9月には、小田原から箱根付近で、主としてマグニチュード2ないし3程度の地震が単発的に起こった。まず7月に小田原付近で1回起こったあと、17日から28日にかけて7回の地震が観測された。このうち、25日3時27分の地震が最も大きく、マグニチュードは3.6であった。新島の東方沖および小田原・箱根付近は、これまではあまり地震が起こっていない所であり注目される。



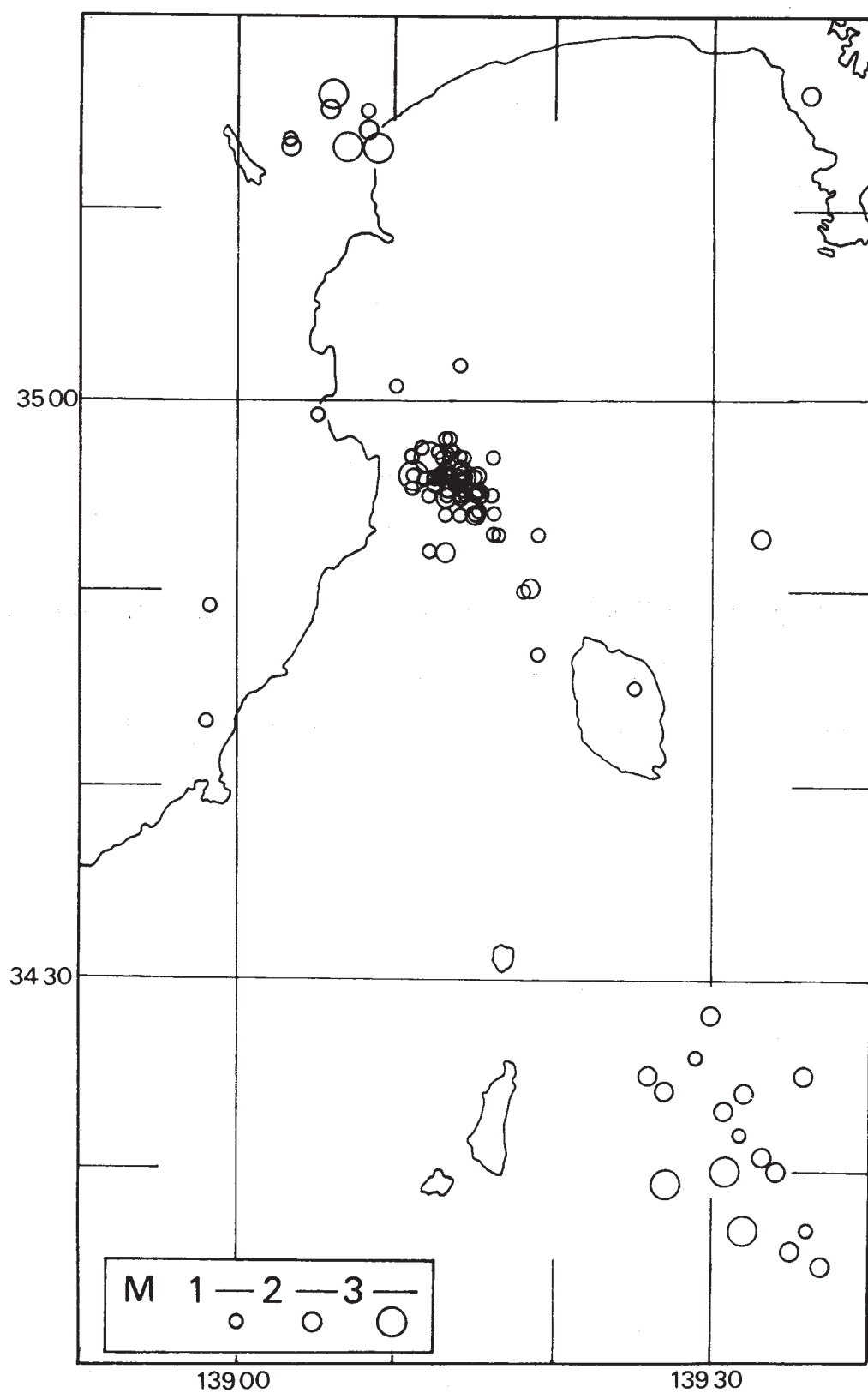
第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 ($S - P \leq 6.0$ 秒)

Fig. 1 Daily number of earthquakes at Kamata ($S - P \leq 6.0$ sec.).



第2図 1982年9月伊豆半島東方沖の群発地震の鎌田における時間別回数 (7日～12日)

Fig. 2 Hourly number of earthquakes off the east coast of the Izu Peninsula observed at Kamata, September 7-12, 1982.



第 3 図 1982 年 9 月の伊豆半島付近の地震活動（7 日～30 日）

Fig. 3 Seismic activity near the Izu Peninsula, September 7-30, 1982.